

# ワラウ門には福来る 藁にかかわる民具たち

神社を訪れると、入口の鳥居にしめ縄がかかっている光景をよく目にします。こうしたしめ縄は一般的に藁を使って作られます。藁は稲などの主に茎の部分を乾燥させたもので、古くから人びとの暮らしのなかで、さまざまに利用されてきました。草履や米俵、敷き物の「むしり」をはじめ、屋根の材料にもなるなど、数えきれません。また、使い古された藁製品は、火にくべて燃料にし、さらにその灰を肥料として利用するなど、貴重な資源でした。



▲横槌（左手前）や藁打ち機（左奥）などの展示

では固くて材料には適しません。藁を叩いて柔らかくする「藁打ち」の作業が必要です。これによって、細工がしやすくなる上に、しなやかで丈夫な藁を用意することができます。この藁打ちのときに使うのが「横槌」と呼ばれる民具です。単に「槌」と呼んだり、その用途から「藁打ち」と称したりもします。太い円筒形の頭から伸びた柄を片手で持ち、土間の片隅などに半分ほど埋められた大きな石の上に藁をのせ、何度も打ち叩きます。

この負担を軽減し、より効率的に作業を行うために開発されたのが「藁打ち機」です。ハンドルを手で回すとローラーが回り、そこに藁を通すことで藁打ちができる仕組みです。甲南ふれあいの館では、今回ご紹介した以外にも、藁にかかわる民具をたくさん展示しています。ぜひ、お越しください。

## 体験教室開催

しめ縄づくりと民具の使用体験ができます。  
詳しくは、28ページへ

問合せ 歴史文化財課 普及活用係 TEL69-2252 FAX69-2293



# みんなの図書館

11月15日～  
12月14日まで  
の行事予定

行事名	内容	開催日	時間	場所
対面朗読	対面朗読 *事前予約要	11月17日(金) 12月 1日(金)	13時30分～ 15時30分	甲南図書交流館
ギャラリー	南北墨画会山ゆり作品展	11月10日(金)～12月 3日(日)		信楽図書館
	レイカディア大学同窓会会員の作品展	11月30日(木)～12月 3日(日)		甲南図書交流館
	甲南ブロック児童・生徒作品展	12月 9日(土)～12月15日(金)		甲南図書交流館
	JAこうか女性部写真倶楽部の写真展	11月25日(土)～12月 3日(日)		甲賀図書情報館
	石絵アート展	12月 4日(月)～12月25日(月)		甲賀図書情報館
その他	第54回信楽芸術祭作品展示会	12月 6日(水)～12月22日(金)		信楽図書館
	エコプロジェクト～本・雑誌をお譲りします～	11月 4日(土)～11月26日(日)		信楽図書館
	ティータイムコンサート	11月26日(日)	15時～16時	信楽図書館
	女性のためのビジネス読書会	12月 6日(水)	10時30分～	水口図書館
	いちごじゃむ人形劇	12月 9日(土)	10時30分～	水口図書館

臨時休館 11月19日(日)～11月25日(土) 甲南図書交流館 (蔵書点検のため)

問合せ申込み  
●水口図書館 tel 63-7400 fax 63-4737  
●土山図書館 tel 66-1056 fax 66-1067  
●甲賀図書情報館 tel 88-7246 fax 88-7005  
●甲南図書交流館 tel 86-1504 fax 86-1505  
●信楽図書館 tel 82-0320 fax 82-3921

休館日  
閉館日

●木・金・第3水曜日  
●月・火・第4金曜日  
●木・金・第4水曜日  
●月・火・第4木曜日

図書館の詳細情報は左記または甲賀市図書館ホームページまで  
http://lib.city.koka.lg.jp



# 二万流!

消防団員○○さんの

消防団での学びを糧に  
地域で頼られる存在へ

Vol.10



製薬会社で働く  
西田さん



消防団協力事業所に  
認定されています

変身!  
甲賀方面隊 第1分団  
大久保班 班長  
にしだ まさとし  
西田 雅年さん

Q. 消防団員に入ろうと思ったきっかけは?

地域の行事等で警備している消防団の姿を幼い頃に見ていて、カッコいいなと感じていました。職場が市内にあること、生まれ育ったまちに貢献したいと思っている時に地元の先輩から勧誘を受けて入団を決めました。

Q. 仕事や生活との両立は大変ではないか?

会社が消防団協力事業所に認定されているので理解が高く、訓練や専科教

Q. 消防団員をしていて良かったと思うこと(今後の抱負)は?

毎月の定例会など大変なこともありますが、仲間と一緒に活動していると前向きな気持ちになります。今後は、班長として班員の方が参加しやすい雰囲気作りができるように心がけたいです。そのほか、消防団には様々な年齢や職種の方が在籍されているので、自分と違った視点の考え方が得られるので、勉強になります。また、訓練を通して資機材の取り扱い方、安全管理、消火栓の取り扱い方や土のうの作成などを学ぶことができ、防災や防火に対する知識を得ることができました。学んだ知識や経験を基に班員や地域の人たちと一緒に地域防災に対する意識を高めて地域全体の防災力の向上につなげていきたいです。